



タイ経済最新情報

2022年9月号

7月のタイ景気回復の基調はやや減速

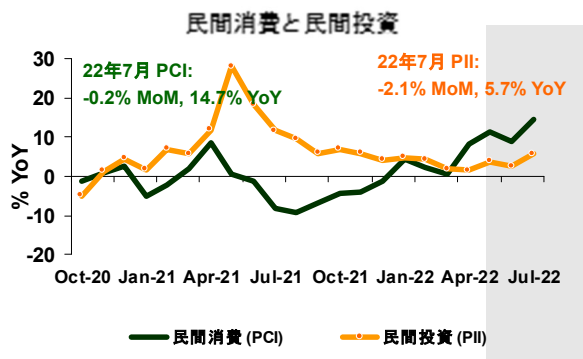
要点

- 2022年7月のタイ経済は、改善が続いているものの、前月までに比べて回復ペースはやや鈍化しました。民間消費・投資はこれまでの時期に加速した反動から収縮しました。輸出は貿易相手国の需要の鈍化を受けて収縮に転じました。しかし、観光業は外国人観光客増にともない上向いています。
- 2022年8月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比7.86%上昇し、前月からやや加速しました。その主な要因は、石油価格や電気・ガス料金の上昇などのエネルギー価格高騰によります。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比3.15%増でした。
- カシコリサーチセンターは、2022年の中古車販売台数が前年比3~5%拡大し、60万~70万台に達すると予測しています。商業銀行の中古車ローンは5~7%増加する見通しです。中古車販売台数は、金融機関による差し押さえ車両の売却が減少して、供給量が縮小することで、伸び悩み見通しです。
- 一方、中古車ローンの見通しは不良債権の増加速度を注視する必要があります。新型コロナウイルス感染症の流行を受けた債務者支援策が今年初めに終了した上、物価高と生活費の上昇で消費者の債務支払い能力が低下し、銀行がローン審査を厳格化する可能性もあります。

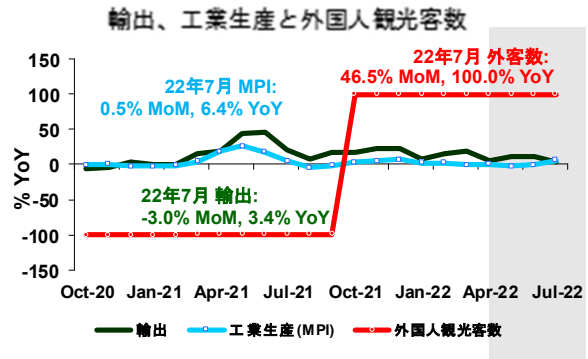
タイ経済の動向

□ 2022年7月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2022年7月の重要な経済指標によると、タイ経済は改善が続いているものの、前月までに比べて回復ペースはやや鈍化しました。民間消費・投資はこれまでの時期に加速した反動から収縮しました。輸出は貿易相手国の需要の鈍化を受けて収縮に転じました。しかし、観光業は外国人観光客増にともない上向いています。



出所: BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports



備考: YoY = 前年比; MoM = 前月比

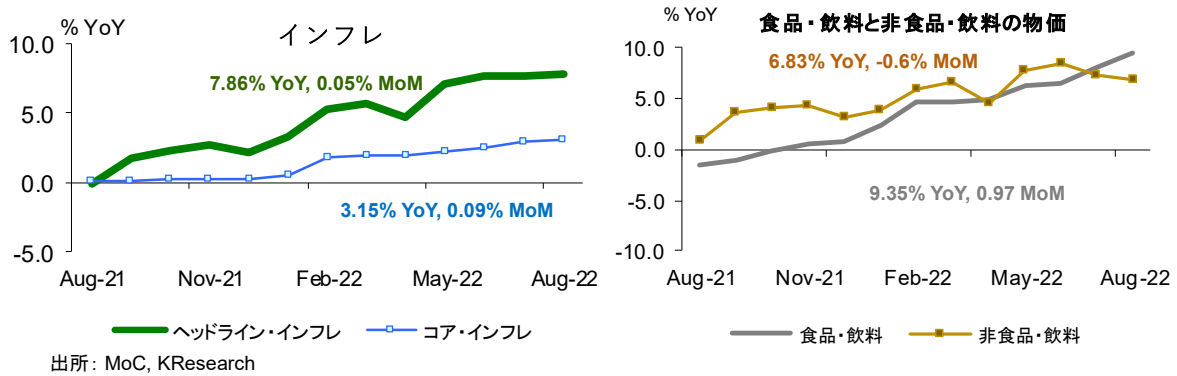
7月の民間消費は前年同月比14.7%拡大しました。旅行者の支出が29倍以上となったほか、サービスが36.9%と2桁の上昇になりました。耐久消費財も13.6%増と伸びました。非耐久消費財が7.1%増、半耐久消費財も2.7%とすべての項目で上昇しました。

一方で、民間投資は、前年同月比5.7%上昇しました。建材の販売と建設認可を受けた土地の面積がそれぞれ21.5%、20.3%の上昇となったほか、国内の機械販売が13.2%上昇しました。商用車の登録は5.9%上昇しました。一方、機械・設備を中心とした資本財の輸入は4.6%下落となりました。

บริการทุกระดับประทับใจ

7月の輸出は、前年同月比3.4%増の234億米ドルとなりました。金を除いた輸出額は3.8%増の229億米ドルでした。金と石油関連製品を除いた場合は0.1%増でした。

工業生産に関しては、前年同月比6.4%上昇し、電子部品のサプライチェーンの回復から製造業の業績改善がみられます。一方で、観光業では、行動制限緩和により、外国人観光客数が引き続き増加しています。



商務省が発表した2022年8月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比7.86%上昇し、前月からやや加速しました。その主な要因は、石油価格や電気・ガス料金の上昇などのエネルギー価格高騰によります。

品目別にみると、食品・飲料部門は9.35%上昇しました。肉・魚が15.15%、果物・野菜が11.81%、調味料が11.06%と2桁の伸びとなったほか、総菜類が8.73%、外食が8.50%、卵・乳製品が4.60%、非アルコールが3.06%それぞれ上昇しました。一方、米・粉製品は0.29%増加しました。非食品部門は6.83%上昇しました。エネルギー価格の上昇を受けて運輸・通信が8.47%と高い上昇が続いているほか、住宅も8.59%上昇となりました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比3.15%増で、前月と比べ加速しました。

2022年の中古車販売は5%成長の見通し

カシコンリサーチセンターは、2022年の中古車販売台数が前年比3~5%拡大し、60万~70万台に達すると予測しています。商業銀行の中古車ローンは5~7%増加する見通しです。

中古車販売台数は、金融機関による差し押さえ車両の売却が減少して、供給量が縮小することで、伸び悩む見通しです。中古車ローンは、中古車価格が新車より低いことや商銀各行が中古車ローンの提供キャンペーンを展開することにより、昨年末の融資残高の3,000億バーツから5~7%伸びると予測しました。

一方、中古車ローンの見通しは不良債権の増加速度を注視する必要があります。新型コロナウイルス感染症の流行を受けた債務者支援策が今年初めに終了した上、物価高と生活費の上昇で消費者の債務支払い能力が低下し、銀行がローン審査を厳格化する可能性もあります。

監修：カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。